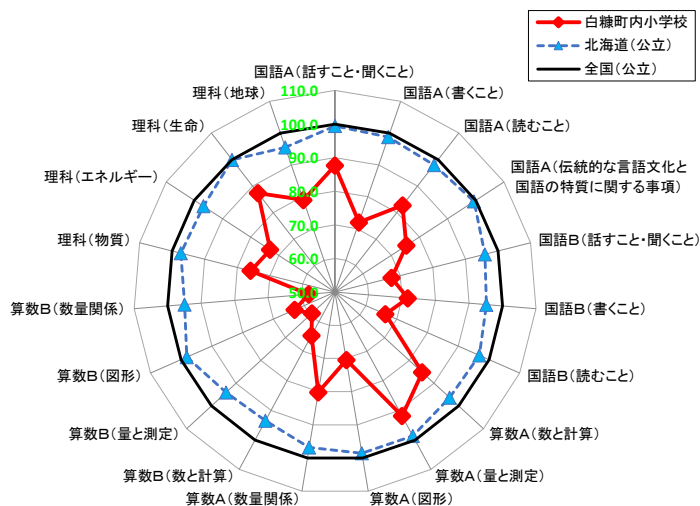


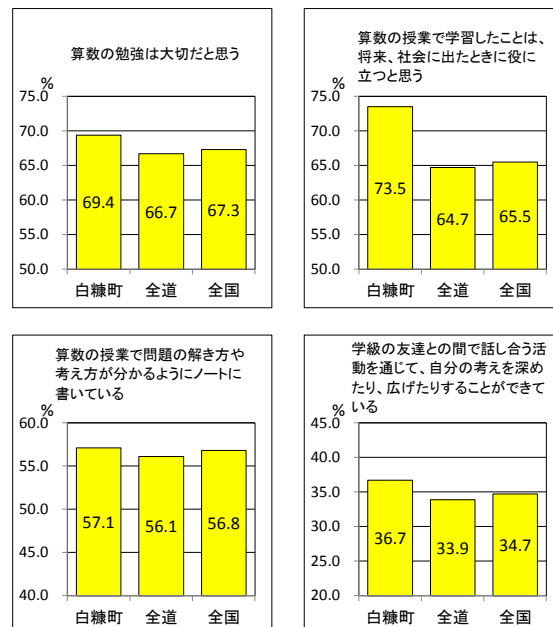
■白糠町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:49人)

【教科全体の状況】

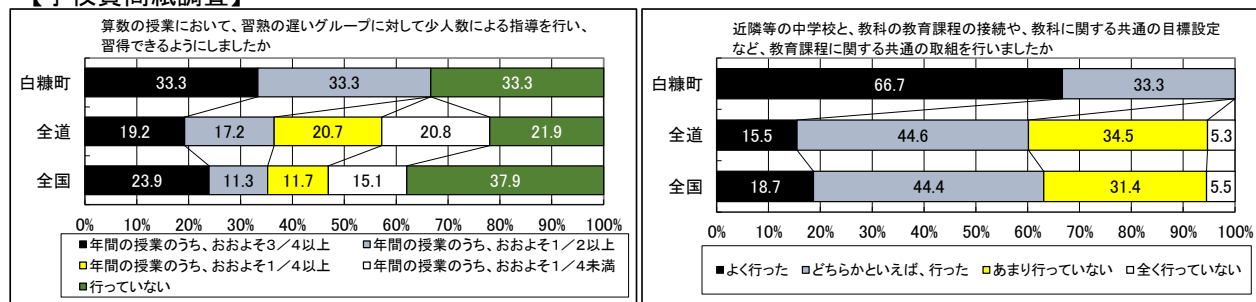
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしたことにより、児童は、算数の勉強は大切で将来、役に立つと考え、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くようになったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の勉強は大切だ」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 小中一貫教育を進め、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善に関する共通の取組を行ってきたことにより、系統性を踏まえた指導の充実が図られ、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【白糠町の学力向上策】

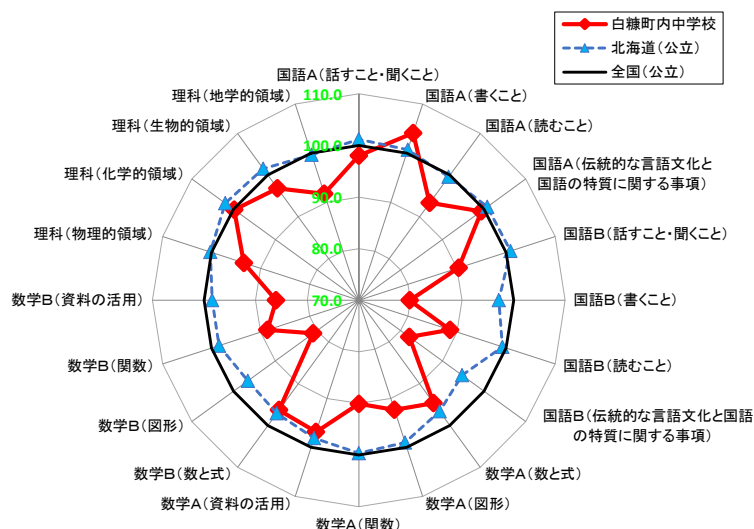
- ◎ 小中一貫教育による、教育課程の接続や学習規律の共有等、教育課程に関する共通の取組の推進及び乗り入れ授業や教科担任制の実施、授業改善の取組の推進
- ◎ 学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標の設定及び達成状況の把握
- ◎ 「全国学力・学習状況調査」や「ほっかいどうチャレンジテスト」の問題の効果的な活用
- ◎ 町独自の標準学力調査の実施による実態把握と学力向上に向けた計画の作成

■白糠町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:52人)

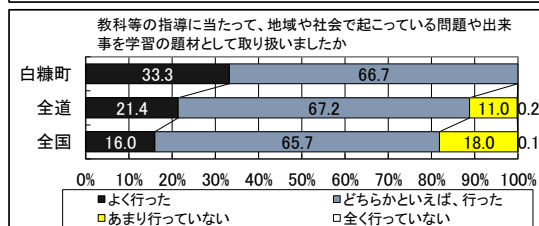
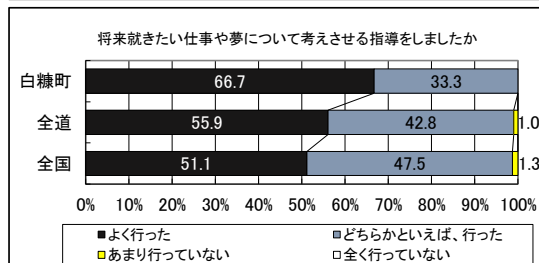
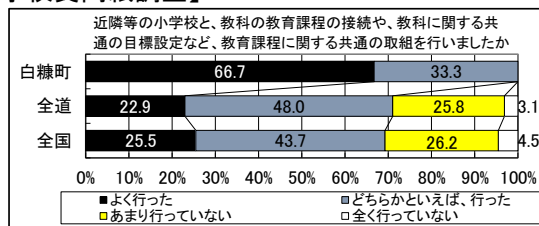
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

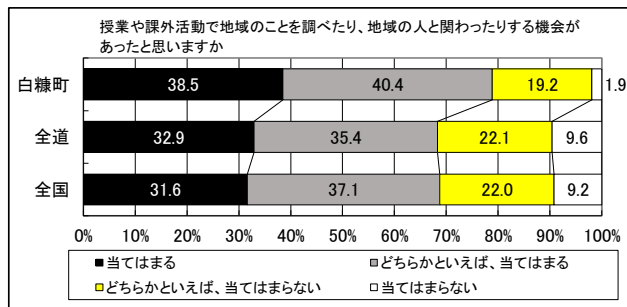
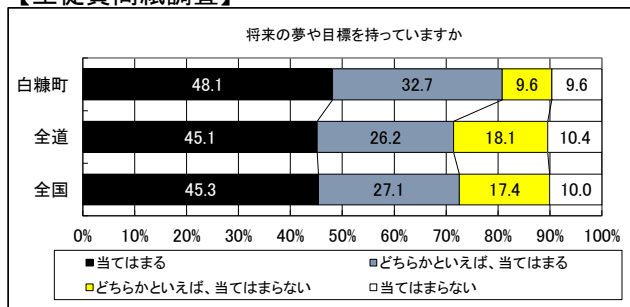
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。	○ 小中一貫教育を進め、近隣等の小学校と、「夢や目標の実現に向け、他者と支え合い努力する人」の育成に向け、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行ったことにより、将来の夢や目標を持っている生徒の割合が高くなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱ったことにより、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと回答した生徒の割合が高くなり、国語Aの「書くこと」で全国を上回るなど、学力の向上につながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 「近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【白糠町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育による、教育課程の接続や学習規律の共有等、教育課程に関する共通の取組の推進及び乗り入れ授業や教科担任制の実施、授業改善の取組の推進
- ◎ 学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標の設定及び達成状況の把握
- ◎ 「全国学力・学習状況調査」や「ほっかいどうチャレンジテスト」の問題の効果的な活用
- ◎ 町独自の標準学力調査の実施による実態把握と学力向上に向けた計画の作成